

(様式1)

令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 055	提案機関名 公益財団法人 相模湾水産振興事業団
要望問題名 相模湾の底質改良調査について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ○ 最近の相模湾葉山以西の海底が泥やシルトに覆われ、底質が硬化し、底棲生物の生育が阻害される危険性がある。 ○ その結果、当該海域で操業されている刺網等漁業の漁獲にも影響を与えているものと考えられる。 ○ そこで、低質の硬化の原因、底質改良方法についての調査・研究の実施を要望します。 ○ 現在、葉山町漁協、茅ヶ崎市漁協、平塚市漁協、小田原市漁協においては、海底耕耘により海底の改良を実施している。 ○ また、水産課の所有する漁業調査船「江の島丸」、「ほうじょう」による海底耕耘の実施を要望する。 ○ 現在使用中の海底耕耘機は頻繁に刃が曲がる、折れるなど耕耘作業に支障を来すことが多く、耕耘機の改良等の研究を要望する。	
解決希望年限	① 年以内 ② 2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 4～5年以内 ④ 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	相模湾試験場
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 海底の硬化現象について、その原因把握は難しいと考えられますが、状況に応じて ROV による海底観察及び漁業者からの聞き取り等により実態を把握します。また底質改良方法について、これまで海底耕耘が各地で行われてきていることから、漁業関係者のご協力を頂き、取組状況を把握しながら、耕耘器の改良など効率的な海底耕耘の実施方法について助言等を行います。調査船による海底耕耘の実施については、現在のところ研究要素が認められないため実施の予定はありません。			
解決予定年限	① 1年以内 ② 2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 4～5年以内 ④ 5～10年以内		
備考			